

第6回 定年引上げに伴う消防本部の課題に関する研究会
議事概要

1 日時：2022年11月9日（水）15：00～17：00

2 開催方法：Web会議形式

3 出席委員（五十音順）

浅羽 隆史	（成蹊大学法学部教授）
阿部 辰雄	（一橋大学大学院法学研究科准教授）
加藤 好一	（秩父消防本部総務課長）
櫛山 智	（北九州市総務局人事部人事課長）
齋藤 祐治	（日本体育大学保健医療学部学事顧問）
中原 訓史	（堺市消防局総務部長）
中村 秀和	（東京消防庁人事部副参事（任用担当））
沼野 勝明	（日光市消防本部総務課長）※1
（座長）原田 久	（立教大学法学部教授）
福山 浩充	（湖南広域消防局次長）
村上 靖	（青森地域広域事務組合消防本部消防次長）
森岡 毅	（川口市総務部次長兼職員課長）
八巻 由美	（自治労本部労働条件局長）

※1 山越予防課長が代理出席。

4 議事経過

（1）開会

（2）議事

（i）定年引上げに伴う消防本部の課題に関する研究会報告書
（案）について

（ii）意見交換

（3）閉会

5 議事概要

（i）定年引上げに伴う消防本部の課題に関する研究会報告書（案）について

資料に沿って説明。

(ii) 意見交換

- 総合力を維持しつつも高齢期職員をはじめとする職員など、全体として働きやすい職場環境を作る方策について、高齢期の職員だけでなく、若手も含めた職場全体としての議論を進める必要があるのではないか。また、高齢期職員が働きやすいような施設の環境の整備等も必要ではないか。
- 定年引き上げに伴って、今後の働き方や配置の部署等について、高齢期職員の活躍の好事例が各消防本部で出てくると思うが、そのような情報について、周知する必要があるのではないか。
- 再任用短時間勤務職員の定数について、多くの消防本部では定数外で措置されているが、短時間勤務でも定数内で措置される本部もあり、今後、短時間勤務職員の定数上の取扱いについても、検討できないか。
- 地域の実情に応じて配置の新設や消防本部内での配置のみならず、必要に応じて首長部局への出向も含めて検討する必要性があり、首長部局を含めた関係部局全体での検討が必要ではないか。
特に、一部事務組合について、構成自治体との連携を強化にすることが必要ではないか。
- 定年引上げ開始後も含めて、各消防本部からの相談には親身に対応していただくようお願いしたい。
- 報告書について、消防本部だけでなく、自治体の人事担当部局にも届くようにするべきではないか。
- 報告書を一つのスタートとして、各消防本部の好事例のフォローアップなど継続的に議論していくことが必要。
- 消防学校等の教育訓練に今後のキャリア形成に関する内容等を取り入れられないか。